

## 外国語活動 学習指導案

学校名 海田町立海田小学校

- 1 日時 平成29年11月30日(木) 第3校時
- 2 学年 第3学年2組 男子19名 女子14名 計33名
- 3 単元名 Dream 3-9 Who are you? きみはだれ? \*絵本教材 “In the Autumn Forest”  
<Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends. (動物, 身体の部位, 形状)>

### 4 単元について

- 本単元は、絵本教材 “In the Autumn Forest” を題材とし、”Are you a ...?” “Yes, I am. I’m a oo.” というやり取りを通して、様々な動物の名前や、身体の一部、様子を表す形容詞に慣れ親しむものである。単元の最後には、3ヒントクイズ大会を設定している。3年生の外国語活動では、ほぼ全ての単元で絵本を題材としており、絵本の読み聞かせを取り入れた指導は児童にとっても親しまれているものである。

本単元では、be動詞の疑問文が初出する。I’m .... という表現は、自己紹介や How are you? のやり取りですでに学んでおり、Are you ...? という表現も、その応答に対する指導者の small talk などで触れたことがある。Yes/No を用いた応答は、Do you like...? のやり取りで体験しているが、後に続く動詞の部分が違っているため、混同しやすく、指導に留意しなければならない表現である。

単元のゴールとなる活動として、3つのヒントを示して ”Who am I?” と尋ねるクイズを行う。ジェスチャーを添えたりイラストを見せたりする工夫も含め、「話すこと」の「やり取り」と「発表」の両観点からの相手意識をもたせる題材である。

- 本学年の児童は、第1, 2学年時に年間7時間, ALT との外国語活動を体験している(裁量時間)。また、第3学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れている。  
9月に行ったアンケート調査では、「外国語活動が好き」と答えた児童は97% (32名中31名)であり、ほぼ全員が肯定的回答を行っていた。また、「授業中は進んで英語を使おうとしている」という設問に肯定的回答を行った児童は94% (30名)であったが、「外国人と話をしてみたい」という設問では、否定的回答を行った児童が25% (8名)と少なくなかった。この結果から授業中に友達や指導者と英語で話すことには抵抗がないが、外国人との実際にコミュニケーションを取ることにはやや抵抗がある児童が多いことが分かった。
- 指導に当たっては、単元の最初に行う読み聞かせで、様々な動物名や様子を表す形容詞に触れさせ、語彙に慣れ親しませるとともに、”Are you a ...?” “Yes, I am. I’m a oo.” というやり取りを繰り返し聞かせることで、単元のゴールで行う活動のやり取りで用いる表現にも慣れ親しませる。学級担任や日本人外国語指導助手(JALT)がやりとりのモデルを示し、話す内容だけでなく、話し方や表情なども含めたコミュニケーションの望ましい姿を見せることで、児童のコミュニケーションの態度の育成を図る。

3 ヒントクイズの作成においては、動物の名前や色や形などの既習表現を活用し、さらに外来語などで触れたことのある語や、指導者の支援を受けながら調べた語などを使って自分が伝えたいことを英語で表現させることを通して、自分の英語が相手に伝わるという喜びを味わわせて学びに向かう姿勢を育てていく。そして、学級担任が積極的に英語を使おうとすることで、児童が間違いを恐れず進んでコミュニケーションを図ろうとする雰囲気作りを行っていく。

## 5 単元の目標

- 絵本などの短い話を聞いて、その内容を表現しようとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 絵本などの短い話を反応しながら聞き、その概要をつかんで表現する。【外国語への慣れ親しみ】
- 誰かと尋ねたり答えたりする表現や、動物や体の部位、形状を表す語に慣れ親しむ。  
【外国語への慣れ親しみ】
- クイズを出したり答えたりする。  
【外国語への慣れ親しみ】
- 日本語と英語のイントネーションなどの音声の違いに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

## 6 単元の評価基準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本などの短い話を聞いて、その内容を表現しようとしている。</li> <li>・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本などの短い話を反応しながら聞き、その概要をつかんで表現している。</li> <li>・誰かと尋ねたり答えたりする表現や、動物や体の部位、形状を表す語を聞いたり言ったりしている。</li> <li>・クイズを出したり答えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語と英語のイントネーションなどの音声の違いに気付いている</li> </ul>

## 7 使用表現・語彙

### 【主な使用表現・語彙】

- ・ Are you a (dog)? Yes, I am. / No, I'm not. ・ Who are you? I'm a (dog).
- ・ Who am I? ・ Hint, please. ・ That's right. ・ Close.
- ・ 動物 (cow, dragon, snake, horse, sheep, chicken, wild boar など)
- ・ 状態や形状を表す語 (long, short, shiny, scary, round, furry など)
- ・ 身体の部位 (head, eyes, ears, nose, mouth, arms, legs など)

### 【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ I'm (name). ・ I like (blue). ・ Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't.
- ・ What (sport) do you like? ・ How many ~? ・ Hint, please.
- ・ big, small, are, 色, 形, 動物, 果物, 野菜, 食べ物, 数 (one ~ thirty), 身体の部位

8 単元計画（5時間）

	目標と主な活動	表現・会話例	評価基準(方法)
1	<p>○絵本などの短い話を聞いて、その内容を表現しようとする。</p> <p>○絵本などの短い話を反応しながら聞き、その概要をつかんで表現する。</p> <hr/> <p><b>絵本を読んで「Who am I?」クイズに答えよう。</b></p> <p><b>※この単元で取組む課題を知り、単元の見通しをもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【短い話を聞く活動】&lt;絵本の読み聞かせ&gt; 'In the Autumn Forest'</li> <li>・「先生の出すクイズに答えよう。」</li> <li>・「反応の仕方を知ろう。」</li> <li>・「3ヒントクイズの言い方や答え方を知ろう。」</li> <li>・【Jingle】Animals (Hi, friends! Plus)</li> </ul>	<p>Are you a (dog)?</p> <p>Yes, I am. / No, I'm not.</p> <p>Who are you?</p> <p>I'm a (dog).</p> <p>Good job! Oh, nice.</p> <p>That's right. Close.</p> <p>・動物 (cow, dragon, snake, horse, sheep, chicken, wild boar など)</p>	<p>・絵本などの短い話を聞いて、その内容を表現しようとしている。</p> <p>【コ】</p> <p>・絵本などの短い話を反応しながら聞き、その概要をつかんで表現している。【慣】</p> <p>(行動観察, 振り返りカード分析)</p>
2	<p>○日本語と英語のイントネーションなどの音声の違いに気付く。</p> <p>○誰かと尋ねたり答えたりする表現や、動物や体の部位、形状を表す語に慣れ親しむ。</p> <hr/> <p><b>からだのいろいろな部分を英語で言ってみよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Jingle】Animals (Hi, friends! Plus)</li> <li>・「体のいろいろな部分の言い方を知ろう。」</li> <li>・「形や様子を聞いて、どの動物のことを言っているのかを考えよう。」(体の部位と形状を表にまとめ、該当する動物を当てはめていく。)</li> <li>・「先生の出す3ヒントクイズに答えよう。」 (絵本に出てこない動物のクイズ)</li> </ul>	<p>Are you a (dog)?</p> <p>Yes, I am. / No, I'm not.</p> <p>Who are you?</p> <p>I'm a (dog).</p> <p>Good job! Oh, nice.</p> <p>That's right. Close.</p> <p>・身体の部位 (head, eyes, ears, nose, mouth, arms, legs など)</p> <p>・状態や形状を表す語 (long, short, shiny, scary, round, furry など)</p>	<p>・日本語と英語のイントネーションなどの音声の違いに気付いている。【気】</p> <p>・誰かと尋ねたり答えたりする表現や、動物や体の部位、形状を表す語を聞いたり言ったりしている。【慣】</p> <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
3 本 時	<p>○相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとする。</p> <p>○クイズを出したり答えたりする。</p> <hr/> <p><b>動物の「Who am I?」クイズをしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Jingle】Animals (Hi, friends! Plus)</li> <li>・【短い話を聞く活動】「先生のクイズモデルを聞こう。」</li> <li>・「2チームに分かれて、絵本に出てきた動物クイズをしよう。」(絵本を基にした、ヒントの決まっている動物クイズのやり取り)</li> <li>・「ペアでクイズのヒントを考えよう。」(既習の表現から、カードの動物のヒント[1:体の部位 2:</li> </ul>	<p>A: Hello. B: Hello.</p> <p>A: Short legs. Who am I?</p> <p>B: Are you a bird?</p> <p>A: Oh, close! No, I'm not.</p> <p>B: Hint, please.</p> <p>A: I'm black and white. Who am I?</p> <p>B: Are you a panda?</p> <p>A: Oh, close! No, I'm not.</p> <p>B: Hint, please.</p> <p>A: OK. (ジェスチャー)</p>	<p>・相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとしている。</p> <p>【コ】</p> <p>・クイズを出したり答えたりしている。【慣】</p> <p>(行動観察, 振り返りカード分析)</p>

	色 3: ジェスチャー]を考える。 ・『Who am I?』クイズをしよう。」	B: Are you a penguin? A: Yes, I am. Good job! See you. B: See you.	
4	○誰かと尋ねたり答えたりする表現や、動物や体の部位、形状を表す語に慣れ親しむ。 ○クイズを出したり答えたりする。 <b>オリジナル「Who am I?」クイズを作ろう。</b> ・【Jingle】Animals (Hi, friends! Plus) ・【短い話を聞く活動】「先生のクイズモデルを聞こう。」 ・「オリジナル『Who am I?』クイズを作ろう。」 (絵本に出てこない動物を選び、既習の内容から、ヒントを考えてクイズを作成する。) ・「クイズのヒントを工夫しよう。」 ・「クイズの出し方を練習しよう。」	A: Hello. B: Hello. A: I'm black and white. Who am I? B: Are you a panda? A: Oh, sorry. No, I'm not. B: Hint, please. A: Short legs. Who am I? B: Are you a bird? A: No, I'm not. B: Hint, please. A: OK. (ジェスチャー) B: Are you a penguin? A: Yes, I am. Good job! See you. B: See you.	・誰かと尋ねたり答えたりする表現や、動物や体の部位、形状を表す語を聞いたり言ったりしている。 【慣】 ・クイズを出したり答えたりしている。【慣】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)
5	○相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとする。 ○クイズを出したり答えたりする。 <b>オリジナル「Who am I?」クイズ大会をしよう。</b> ・【Jingle】Animals (Hi, friends! Plus) ・「クイズの出し方や答え方の練習をしよう。」 ・「"Who am I?"クイズ大会」 ・「ほめほめ Time」 (他の児童の表現の良い所を見つけあう活動) ●単元ふり返りカードの記入 <b>※内容面と言語面についてふり返る。</b>	A: Hello. B: Hello. A: I'm black and white. Who am I? B: Are you a panda? A: Oh, sorry. No, I'm not. B: Hint, please. A: Short legs. Who am I? B: Are you a bird? A: No, I'm not. B: Hint, please. A: OK. (ジェスチャー) B: Are you a penguin? A: Yes, I am. Good job! See you. B: See you.	・相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとしている。 【コ】 ・クイズを出したり答えたりしている。【慣】(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・クイズを出したり答えたりする。

【外国語への慣れ親しみ】

### (2) 本時の評価規準

- ・相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとしている。
- ・クイズを出したり答えたりしている。

(3) 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ Are you a (dog)? Yes, I am. / No, I'm not. ・ Who are you? I'm a (dog).
- ・ Who am I? ・ Hint, please. ・ long, short
- ・ 動物 (cow, dragon, snake, horse, sheep, chicken, wild boar)
- ・ 身体の部位 (head, eyes, ears, nose, mouth, shoulders, knees, toes)
- ・ 状態や形状を表す語 (long, short, shiny, scary, round, furry など)

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ I'm (name). ・ I like (blue). ・ Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't.
- ・ big, small, are, 色, 形, 動物, 身体の部位

(4) 準備物

タブレット【デジタル教材 (Hi, friends! Story books / Hi, friends! Plus), ICT 教材】,  
絵本 'In the Autumn Forest', 教師用絵カード, 表現カード, ワークシート

(5) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導 入	<p>○挨拶をする。</p> <p>○【Jingle】Animals (Hi, friends! Plus) ・デジタル教材を見ながら、動物名のジ ングルを言う。</p> <p>○前時までの学習を振り返る。 ・体の部位の表現についての既習表現の 掲示を見て、自分の体の部位を指し示し ながら英語で言う。</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>絵本に出てきた動物の「Who am I?」クイズをしよう。</b> </div>	<p>◇はっきりとした声で、気持ちのよ い挨拶を交わす。</p> <p>◇日本語とは違う音を意識させなが ら、一緒に言う。 ◆指導者が口をはっきりと動かし、 音の特徴をとらえやすいようにす る。</p> <p>◇前時に学んだ、体の部位について まとめた表を事前に掲示しておく。</p>	
展 開	<p>○【短い話を聞く活動】 「先生のクイズモデルを聞こう。」 ・指導者のクイズのモデルを聞く。 ・どのような表現を使ってクイズを行っ ていたかを発表する。</p>	<p>◇単元末の活動のモデルとなるよう に、相手意識をもったやり取りのモ デルを見せる。 ◆表現カードを提示するなどして、 言葉を引き出す。</p>	

<p>【クイズモデルの例】</p> <p>T1: Now, let's do 'Who am I?' quiz. We'll do the model. Hello. T2: Hello.</p> <p>T1: I'm black and white. Who am I? T2: Umm. Are you a panda?</p> <p>T1: Oh, sorry. No, I'm not. T2: Hint, please.</p> <p>T1: Short legs. Who am I? T2: Are you a bird?</p> <p>T1: Oh, close! No, I'm not. T2: Hint, please.</p> <p>T1: OK. (動きなどのジェスチャーを行う。) T2: Are you a penguin?</p> <p>T1: Yes, I am. (ハイタッチを行う。) Good job! See you. T2: See you.</p>		
<p>○「ペアで動物クイズをしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで絵本に出てきた動物と、クイズのヒントを伝え、ペア対抗でクイズを出し合う。</li> </ul> <p>○「ペアでクイズのヒントを考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアに1枚ずつカードを配布する。</li> <li>・既習の表現から、カードの動物のヒント[1:色 2:体の部位 3:ジェスチャー]を考える。</li> </ul> <p>○「『Who am I?』クイズをしよう。」</p> <p>&lt;1回目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで学級を歩き回り、他のペアとクイズを出し合う。</li> <li>・正解したらハイタッチをして、別のペアとクイズを出し合う。</li> </ul> <p>&lt;活動ふり返り&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りのよかったところや、さらに工夫したいところを交流する。</li> </ul> <p>&lt;2回目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物カードの数を増やし、1人1枚ずつカードを持つ。</li> <li>・1対1でクイズを出し合う。そのときヒントは紙を見ずに出し合う。</li> <li>・正解したらハイタッチをして、別の友達とクイズを出し合う。</li> </ul>	<p>◇絵カードを見せながら、ヒントの言葉を引き出す。</p> <p>◆指導者が自分のチームの表現と一緒にゆっくりと言い、まず全体で自信をもって言えるようにさせる。</p> <p>◇一生懸命ヒントを考えようとする姿を評価する。</p> <p>◆全体で分からない言葉を振り返る。また、ヒントを考えることが難しい児童には、既習内容の板書を活用するよう、声かけを行う。</p> <p>◆机間指導を行い、なかなか言えない児童や、相手に伝わるように言えない児童を支援する</p> <p>◇1回目終了後の活動ふり返り時に、児童のコミュニケーションの良かった姿を伝え、さらに工夫できる点などが引き出せるような声かけを行い、2回目の活動でより相手意識をもった活動ができるようにする。</p> <p>◇2回目終了後時間があれば、クイズ後にカードを交換し、新しいカードで別の友達とクイズを出し合う活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしている。</li> </ul> <p>【コ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズを出したり答えたりしている。【慣】(行動観察, 振り返りカード分析)</li> </ul>

<p>○本時の活動をふり返る。 ・振り返りカードを記入し、自己評価を行う。 【言語面と内容面で評価】</p> <p>ま と め</p> <p>【児童のまとめの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ long tail などのヒントの、英語での言い方が分かった。</li> <li>・ Hint, please. や That's right! が言えるようになった。</li> <li>・ ヒントを出すときに、友達に伝わりやすいようにはっきりということができた。</li> <li>・ ○○さんが、体の部分を言いながらジェスチャーをしていたのが良かった。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童が工夫してヒントを出し、反応の言葉を添えながら、クイズの応答を行っていたことを評価する。</p>	

(6) 板書計画

<p>Today's goal 動物の「Who am I?」 クイズをしよう</p>	<p>ヒント1：色 I'm _____.</p> <p>ヒント2：とくちょう _____(体・かたちなど). Are you a _____?</p> <p>Oh close!</p> <p>ヒント3：ジェスチャー Are you a _____?</p> <p>That's right! Yes, I am. I'm a _____.</p>	<p>Thursday</p> <p>November thirtieth</p> <p>sunny (絵カード)</p>
<p>体の部位 表</p>		